

浮きドック配管延命補強 下地作業

施工日： 2020年3月31日～

施工者： (株)折原製作所

(350 A、300 A ブチルロール貼付け作業)



①配管の錆、腐食がある為、マホータイの下地としてブチルロール（下地用ブチルゴム）を使用する。



②今回、ケレン作業については、新たな穴が空いたりしないように、ウエス等で上錆びを落とす程度にする。



③T字部や継手部の場合、貼りきれない箇所は出ますが、可能な限り貼り合わせていく。



④端の部分を重ねて貼り合わせ、可能な限り露出部分が無いように確認しながら行う。



⑤エルボ部も重ねる範囲をずらしながら、露出部分が無いように全体に貼り合わせていく。



⑥範囲が広い為、漏水箇所以外は、全体にブチルロールを貼る作業を始めに行い、下地作業を終了。

浮きドック配管延命補強工事

施工日： 2020年3月31日～

施工者： (株)折原製作所

(350 A、300 A マホータイ巻付け・オリスチール充填作業)



① ブチルロールでの下地処理後、全体にパイプの延命補強材マホータイ(特殊レジン含浸グラスファイバーテープ)を巻く。



② T字部は、マホータイで覆いきれない箇所が出るが、櫛掛けにして可能な範囲で巻いていく。



③ 巻き終わり後、硬化剤の水を含ませ、水と反応してマホータイから出る樹脂を行き渡らせるように、巻いた方向に絞る。



④ 絞る作業後は、自然硬化の為、そのまま放置する。硬化時間は気温で異なるが、15℃前後の為、約1時間。



⑤ マホータイで覆えない箇所は、オリスチール(金属粉入エポキシパテ)を充填し補強する。



⑥ 配管の露出部分がなくなるように確認しながら行い施工完了する。